事例No.	2567
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	桑田　ミサオ

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・人材確保・育成 ・観光

事例種類	関係人口

事例内容・タイトル

桑田　ミサオ

出典

平成26年度ふるさとづくり大賞事例集

桑田　ミサオ　　青森県五所川原市

概　　要



６０歳から笹餅作りを始め、７５歳から本格的な起業活動を行う。地元の野菜直売所やスーパーなどでも販売しているほか、地元私鉄で冬期に運行されるストーブ列車内で笹餅の販売を行い、地元のPR・活性化に向けた取組も続けている。また、被災地支援として東京家政学院大学の学生の力添えもあり千羽鶴ならぬ１，０００個の笹餅を贈る活動を目標に掲げ、３年間で通算して３，０００個を超える笹餅を贈った。

評価された点



・高齢化時代を迎えて、75歳から起業、活動を行っていることはこれからの時代の模範となる。
・70歳を過ぎてからの起業家として、周辺はもとより高齢化時代の中で、多くの人々に勇気と元気を伝えている。「おいしい」と「ありがとう」のコミュニティビジネスとして地域の誇りとなっている点を評価したい。
・団塊世代がリタイヤをする年齢に、新たな夢を探す勇気を与えてくれるもの。
・生き方も含めて笹もちづくりの継承と、後継者育成に尽力している点を評価。

風間　教司　　栃木県鹿沼市

概　　要



平成11年に自宅を改装してカフェを開業後、若者からの起業相談を受ける機会が増え、若者の創業支援・チャレンジショップ事業として路地裏界隈で「ネコヤド大市」を毎月１回開始。空き家や空き店舗での若者の開業支援を行い、若手経営者達とともに、市の歴史、文化、伝統芸能等の地域資源の魅力を伝え触れて楽しむ工夫をこらした様々なイベントを実施し、中心市街地活性化に貢献。

評価された点



・地元での創業の相談だけでなく、様々な事業に取り組み成果を出している。
・自らの起業経験をベースに、若手企業家を応援し、町の活性化を実現している。
・「ネコヤド大市」「DANNAVISION」等の言葉使いの中に個人のセンスの良さを感じる。実際に5年間で15店舗の独立開業を生み出していることからもネットワーク力や指導力がある。まだ若いだけに鹿沼を盛り上げる中心的な役割に大いに期待。
・若者が独立・起業する機会を提供し、さらにそこから地域を発展させる行事を創り出していることを評価。